

市民活動・ボランティア ニュース



2007年

1

月号

平成18年12月25日発行
通巻97号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

◆発行◆

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971

E-mail seiknp@pref.mie.jp

NPO室のホームページ

<http://www1.mienpo.net/npot>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります！

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティア

センター／津市市民活動センター／

オールウェイズ（津センターバレス

1階）／津中央郵便局ボランティア

コーナー／（有）デザインオフィス萩

野 ●桑名市●特定非営利活動法

人みえきた市民活動センター ●

四日市市●四日市市市民活動セン

ター／寺子屋プロジェクト ●鈴鹿

市●市民活動情報ネットワークす

かのぶどう ●松阪市●三重中央大

学／松阪市市民活動センター／松

阪まちづくりセンター『まちの駅松

阪「寸庵」 ●伊勢市●特定非営

利活動法人伊勢志摩NPOネット

ワークの会／伊勢市市民活動セン

ター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワ

ークセンター・結 ●名張市●名張市立

図書館／名張青年会議所／皇学館

大学名張キャンパス／名張市総合

福祉センター／エコリソート赤目の

森／名張市市民活動センター／くら

しの情報センター同夢 ●伊賀市

●ウィリアム・テルズアップル まち

づくりセンター／伊賀市中央公民館

／伊賀市立図書館／上野青年会議

所／伊賀市市民活動支援センター

●明和町●明和町市民活動サ

ポートセンター ●南伊勢町●南勢

町市民活動室連絡協議会

【地域の社会福祉協議会】県内の市

町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店

／三重銀行各店／東海労働金庫各

店／第三銀行各店／メディカル光

各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール

／三重県地域機関（各県民セン

ター）（桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、

松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南）／

三重県民サービスセンター（情報公

開窓口）／三重県総合医療センター

／三重県立一志病院／三重県立志

摩病院／三重県立こころの医療セン

ター／斎宮歴史博物館／三重県立

博物館／三重県立図書館／三重県

生涯学習センター／三重県男女共同

参画センター『フレンドみえ』／三

重県人権センター／三重県身体障害者

総合福祉センター／三重県環境学習

情報センター／各市町役場

三重県遊技業福祉連合会

企業の社会貢献活動として、県内の市民活動団体等に助成を行い、顕著な成果を上げられている三重県遊技業福祉連合会の活動をご紹介します。（以下の文は同連合会から寄稿していただきました。）

企業というのは、どのような業種であれ、自分の会社だけ儲ければいいという考え方は、根本的に間違っており、どのような形であれ社会的責任を果たさなければなりません。

三重県内のパチンコ店187店の内、162店が加盟している三重県遊技業協同組合とそのパチンコ店に景品を販売する団体で作られた三重県遊技業福祉連合会は、大企業とは比較にならない小さな団体であります。21世紀にふさわしい企業及び業界の社会的責任のあり方について検討をした結果、平成15年度からMPDリーム助成金として、三重県内で教育問題、環境問題、伝統文化やスポーツの振興、障害者や高齢者のサポートなど様々な分野で活動されているNPO等を中心に助成することで、少しでも社会的責任を果たしていく事といたしました。

4回目を迎えた平成18年度は、12月19日に津市のホテルグリーンパーク津において100名余の出席をいただき、贈呈式を開催し、35団体に1,081万円余りを助成させていただきました。贈呈式のあとはみえ市民活動ボランティアセンターとの協働で、県内企業のCSR担当の方にも参加をよびかけたボランティア・市民活動団体・企業交流会も実施しました。

MPDリーム助成金としては、まだ4年間で約4,700万円ですが、昭和48年から続いています前身である善意の箱から通算しますと約8億円の社会還元をさせていただきました。

MPDリーム助成金では、毎年6月中旬から8月にかけて、三重県遊技業協同組合加盟店の店頭ポスターをはじめ、市民活動・ボランティアニュース、中日新聞、FM三重放送、社会福祉協議会等を通じて広報し、助成先団体を募集しています。

三重県遊技業協同組合と三重県遊技業福祉連合会では、

『夢は、あなたがあきらめない限り続きます。』

応援します！あなたのボランティア。』

をキャッチフレーズに今後もNPO等のボランティア団体を応援していきたいと思

います。

●問い合わせ先／514-0006 津市広明町328 (株)津ビル内 三重県遊技業福祉連合会

Tel.059-221-1677 Fax.059-227-7332



つながる



つなげる 21

県ボランティアセンター
コーディネーター

北出真由美

一年の締めくくりと新たな年の始まりをどのように過ごされましたでしょうか。といっても仕事関係では4月スタートの方が多数でしょうから、締めくくるところか、いい加減そろそろ取り掛からないといけなことが…と

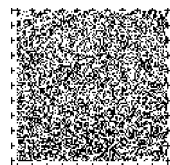
思っている人も多いのかもしれませんが。

私も間違いなくそのひとりなのですが、ここで何回かお話しているVco（ボランティアコーディネーター）養成研修の集合研修は、先月無事最後の講座を終えることができました。

今回の講座を通して多くの受講生の皆さんから寄せられた感想は「他の社会福祉協議会、施設の方々と話ができて、意見、考え方を聞くことができてよかった」というものでした。そんなこと今更…と思う方もなかにはみえるかもしれませんが。でも、実際の職場では、指示や命令はあるけれども、意見、考え方を聞く機会はなかなかないのが現実かもしれません。自分以外の意見や考え方を聞くことができるということは、その業務が流れ作業で終わっていない証しなのではないかと私は思います。それには、時間的余裕、精神的余裕、他にもいろいろの余裕が必要になってきます。今年はその「余裕」を持つことを心がけたいと思っています。

SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

はじめ の 一歩

これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

新しい年に新しいことを考えよう！

年の初めに、志も新たに「新年の抱負」を考えておられる方も多いのではないのでしょうか。そして、その新しいことを個人や任意団体ではなく、NPO法人で始めようとお考えの方もあるのではないかと思います。

NPO法人は株式会社とは違って営利を目的としない特定非営利活動法人と呼ばれるものです。法人設立にあたっての一番の特徴は「お金がいらないこと」です。設立にかかる申請や登記手数料が免除されています。したがって法人を登記するための費用で一番大きなものは印鑑を作る費用だといわれています。会社法が改正され資本金の規制が撤廃されたため、会社も一円で設立できることにはなりましたが、申請や登記にかかる費用が大きく違ってきます。その理由は市民活動に法人格を与えるための制度であるからです。

その他にも役員として理事を3人以上、監事をひとり以上置く必要があり、会員（法律上の社員）を10人以上集める必要があります。でも会社はひとりでも作れますから、儲かる商売なら会社がいいでしょう。

当然のことながら、非営利で社会貢献を行うNPO法人の場合は、そのミッション（使命）が重要なポイントになるのです。言い換えなら「志」が大切だといえるでしょう。

三重県生活部NPO室 堀木俊哉

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人（NPO法人）申請は5団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民センターに備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1) 名称 (2) 代表者氏名 (3) 法人事務所の所在地
【1】(1) ロハス (2) 松平龍太郎 (3) 桑名市末広町53番地松濤ビル3A
【2】(1) 鈴桜会 (2) 川村憲市 (3) 鈴鹿市中富田町518番地
【3】(1) 三重県防犯設備協会 (2) 松吉善弘 (3) 津市一身田中野93番地1
【4】(1) 自然学校みえ (2) 子安和弘 (3) 四日市市生桑町2278番地24
【5】(1) いちりんの会 (2) 児玉和孝 (3) いなべ市藤原町坂本1042番地
(平成18年11月10日～平成18年12月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人（登記年月日）

海の達人（平成18年7月27日）／うれしのスポーツクラブAFLEC（平成18年11月13日）／NPOレインボークラブ（平成18年11月14日）／三重県歯科衛生士会（平成18年11月21日）／地産地消ネットワークみえ（平成18年12月1日）／植える美ing（平成18年12月4日）
(平成18年11月10日～平成18年12月9日届出分)

イベントスケジュール

NPOマネジメント講座

- とき／時間は全て10:00～15:00 【第1回】1月12日（金）【第2回】1月18日（木）【第3回】1月26日（金）【第4回】2月1日（木）
●ところ／アスト津3階 みえ県民交流センター ミーティングルームA・B（津市羽所町700番地） ●参加費／無料
●内容／NPO及びNPO支援団体スタッフ等対象。【第1回】NPOの資金調達と団体運営力向上のポイント、【第2回】NPOの助成金申請と企画力向上のポイント、【第3回】NPOの情報発信と広報力向上のポイント、【第4回】NPOのプレゼンテーション力向上のポイント。
●募集人数／30人程度（申込み順に受付）
●申込方法／名前と連絡先電話番号、メールアドレス、所属団体名、第何回を希望かを下記まで。
●申込・問い合わせ先／三重県生活部NPO室
Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp

くわな歴史と文学を語る会1月例会

- とき／1月14日（日）10:00～12:00
●ところ／桑名シティホテル ●参加費／1000円
●内容／三重県埋蔵文化財センター、竹内英昭さんに「北勢地方の古代寺院一額田廃寺と縄生廃寺」について伺います。
●申込・問い合わせ先／西羽 晃 Tel.0594-21-0980

フェアトレード・ほかほかカフェ

- とき／1月14日（日）11:00～16:00
●ところ／アスト津3階交流スペース
●内容／心と体に暖かいフェアトレード商品と有機食品をご紹介します。
●主催／ESDin三重、フェアトレードコーナー抱

まちづくりトークセッション2007

- とき／1月14日（日）13:30～17:00
●ところ／津市センターパレスホール ●参加費／無料
●内容／5年、10年後…。近未来の津市はどんな「まち」になっているのでしょうか。どうすれば津市はもっと「人にやさしい、安心できるまち」になっていけるのでしょうか？皆さん、一緒に考えましょう。第一部は各界で活躍する市民・県民代表によるトークセッション。第二部ではめるへん堂のライブを開催します。
●問い合わせ先／津市大門7-15 津センターパレスビル4階 障害者生活支援センターふらっと Tel.059-229-1380
●主催／津市、障害者生活支援センターふらっと

第6回三重県いなば園音楽療法セミナー 感覚統合と音楽療法

- とき／1月14日（日）受付12:00～ 13:00～15:30
●ところ／三重県総合文化センター大研修室 ●参加費／2000円
●内容／全米音楽療法協会認定音楽療法士である岩田清美さんに、発達障害児に対する音楽療法プログラムの実践で世界的に有名なアリゾナ州子ども神経発達研究センターにおける施設の役割とインターンシップ経験と、国内施設・学校での経験を通して考えたこと、現場への提案を教えてください。
●募集人数／150人 ●応募締切／1月5日（金）
●申込方法／参加費を口座に振り込み、申込用紙をFaxで下記まで。振込料は申込者負担をお願いします。
【口座名】フク.ミエケンコウセイジギョウダン
百五銀行一身田支店 店番507 （普）269627
●申込・問い合わせ先／いなば園経営企画チーム（担当：米倉、更家）、親子通園（担当：橋爪） Tel.059-252-1780
Fax.059-252-1374 E-mail kikaku-9@inabaen.com
ホームページ http://www.inabaen.com

自閉症児・者とその家族の発達保障

～みんなの豊かな生活のために～

- とき／1月14日（日）受付10:00～ 10:30～15:00
●ところ／三重県総合文化センター内フレンティみえ2階セミナー室A
●参加費／三重県支部会員無料、非会員500円（当日、受付支払）
●内容／午前中は日本福祉大学教授、近藤直子先生の講演会。

午後は(1)兄弟姉妹支援、(2)特別支援教育、(3)地域生活支援に分かれてのグループディスカッション。

●応募締切／1月7日(日)但し、定員になり次第締切

●申込・問い合わせ先／東田美賀 Tel.&Fax.059-322-0727 山崎泰子 Tel.&Fax.0594-24-1622

ひきこもり研修会【第1部】

●とき／1月16日(火)10:00～12:00

●ところ／久居庁舎2階25会議室(津市久居明神町2501-1)

●内容／全国引きこもりKHJ親の会・東東京「楽の会」代表、池田佳世さんによる講演「ひきこもりからの回復過程を考える」を開催。
※第二部は関係者のみ対象です。

●応募締切／1月10日(水)定員になり次第締切

●申込方法／電話か、専用のFax送信票を下記まで。

●申込・問い合わせ先／三重県こころの健康センター
Tel.059-255-2151 Fax.059-255-2835

【四日市まんなか子ども劇場】

遊びの国「凧を作って上げてみよう！」

●とき／1月20日(土)10:30～

●参加費／一般500円、会員300円(材料費別途必要)

●内容／自分だけの凧を作って、外で上げます。

子育てサロン「カフェまんなか」

●とき／1月23日(火)10:30～12:30(毎月第3火曜の予定)

●参加費／一般500円、会員100円 ランチバイキング500円

●内容／子どもは保育に預けて(一人500円。二人目からは半額)、お母さんだけのおしゃべりの場です。ランチバイキングもあり。

四日市おもちゃの病院

●とき／1月27日(土)・3月24日(土)14:00～16:00

(奇数月の土曜日に1回開催)

●参加費／300円(部品代が必要な場合があります)

●内容／壊れたおもちゃをボランティアの方に直してもらいます。

月に一度の絵本のひろばとヘルシーランチ

●とき／2月5日(月)絵本のひろば11:00～、ランチ11:30～

●参加費／ランチ900円 利用料一般300円、会員無料

●内容／読み聞かせグループ「すのうほわいと」さんによる絵本のひろばと、野菜中心の料理「野恵都」さんのランチ。

●ところ(全て)／四日市まんなか子ども劇場みんなの居場所きらり

●申込・問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670

認知症の人と家族の会一般向「つどい交流会」

●とき／1月21日(日)13:30～15:00 事前申込不要

●ところ／アスト津3階 みえ県民交流センターミーティングルームA(津市羽所町700)

●内容／認知症の人とその家族のために、一般向けの交流の場を設けました。会員でなくてもかまいません。交流を通じて、さまざまな支え合いの方法があることと知っていただきたいと思います。

●主催・問い合わせ先／518-0833 伊賀市緑ヶ丘東町1017-7 社団法人認知症の人と家族の会三重県支部(担当:泉)
(旧名称 呆け老人をかかえる家族の会)

Tel.&Fax.0595-24-4545 E-mail pole-mie@ict.ne.jp

国際貢献セミナー

●とき／1月24日(水)13:30～16:30

●ところ／アストホール(津市羽所町700 アスト津4階)

●参加費／無料(申込不要)

●内容／独立行政法人国際協力機構中部国際センター(JICA中

部)所長の米田博さんと、財団法人国際開発高等教育機構専務理事であり、前カザフスタン大使である角崎利夫さんの講演。質疑応答もあります。

●主催・問い合わせ先／三重県生活部国際室

Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984



ハーボステーション(地域環境情報連絡局) プチ交流会

【その1 私たちの暮らしの中のゴミについて見つめなおし、日々の活動を語り合しましょう】(雨天決行)

●とき／1月24日(水)受付9:30～ 10:00～12:00

●ところ／伊勢リサイクルプラザ現地集合・解散 ●参加費／無料

●内容／伊勢広域のゴミ焼却場などの施設見学をして、日頃の市民活動・ボランティア活動紹介・情報や意見交換会を行います。

【その2 冬の自然を観察し、身近な自然環境について語り合しましょう】(雨天決行)

●とき／2月13日(火)受付9:30～ 10:00～13:00

●ところ／吉兆窯とその周辺(玉城町原)現地集合・解散

●参加費／300円(保険代・材料代を含む)

●内容／自然観察指導員の渡辺幸宏さんから、玉城町原周辺の特徴ある歴史と冬の自然を観察してお話を伺い、お昼は鍋を囲みでの交流会をおこないます。

●応募締切／2月8日(木)

●申込・問い合わせ先／めいわ市民活動サポートセンター

Tel.0596-52-7129(受付9:00～16:00) Fax.0596-52-7739 E-mail support-c@town.meiwa.mie.jp



青春キネマ館特別上映会 大映名作映画連続上映 第1弾

田中徳三監督トーク&「手討」上映会

●とき／1月28日(日)映画上映17:30～、トーク19:10～

●ところ／伊勢進富座(伊勢市曾祢2-8-27)

●参加費／前売1500円、当日2000円(映画・トークセット券)

●内容／名張在住の田中徳三監督を招いて上映会とトーク「田中徳三監督が語る市川雷蔵の魅力と素顔」を行います。映画は田中監督作品「手討」。旗本と腰元の悲恋を軸に、旗本と大名で揺れる幕府政治をからませた時代劇で、市川雷蔵主演の傑作です。

●主催・申込・問い合わせ先／青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会 Tel.0596-23-0839(受付19:00～22:00)

災害時の外国人支援

●とき／1月31日(水)13:30～16:30

●ところ／鈴鹿市文化会館さつきプラザ(鈴鹿市飯野寺家町810 Tel.059-382-8111) ●参加費／無料

●内容／これまで各地で起こった自然災害の際、外国人住民は地域に取り残され孤立するような状況がありました。また、東南海・南海地震等は、いつ起こっても不思議ではないといわれています。阪神大震災・中越地震での外国人住民支援事例から、共に学び、地域でのサポート体制を考えます。講師は非営利活動法人多文化共生センター理事の田村太郎さんです。

●問い合わせ先／(財)三重県国際交流財団

Tel.059-223-5006 E-mail mief@mief.or.jp

●主催／三重県 ●共催／鈴鹿市

自治講演会住民参加型行政の課題

●とき／1月31日(水)13:30～16:30

●ところ／(財)三重地方自治労働文化センター4階大会議室

(津市栄町2丁目361番地) ●参加費／無料

●内容／法政大学法学部教授の鈴木佑司さんの基調講演と、シンポジウムを行います。コーディネーターは三重大学教授の児玉克哉

さん。パネラーは松田直久津市長、みえ市民活動ボランティアセンター市民プロデューサーの吉島隆子さんと鈴木佑司さんです。

●応募締切／1月23日(火)

●申込方法／住所、氏名、職業、連絡先をFaxまたはE-mailにて。

●主催・申込・問い合わせ先／三重県自治研究センター

Tel.059-227-3298 Fax.059-227-3116

E-mail info@mie-jichiken.jp

第2回若者の就労を考える親向けセミナー

●とき／2月3日(土) 13:30～16:30

●ところ／伊勢市労働福祉会館(伊勢市勢田町628-3)

●内容／若者の一番身近にあり、自立支援において最も重要な役割を担っている保護者に向けて支援のあり方への理解と交流を目的としてセミナーを開催します。第1部はNPO法人リベラヒューマンサポート理事の浦田宗昭さんによる勉強会「若者の心の理解」とワークショップ。第2部は、悩んでいることなどを語り合うフリートーク。そして今後の子どもへの接し方を考えます。

●募集人数／先着20人程度 ●応募締切／1月24日(水) 17:00

●申込方法／電話、Fax、E-mailなどで下記まで。

●申込・問い合わせ先／514-8570 津市広明町13番地 生活部勤労・雇用支援室 雇用グループ Tel.059-224-2461 Fax.059-224-2455 E-mail kinko@pref.mie.jp



人権講演会

「明るく!元気に!反差別!人権トークショー in津市～みんな笑顔で～」

●とき／2月3日(土) 受付13:30～ 14:00～16:00

●ところ／三重県人権センター多目的ホール

(津市一身田大古曾693-1 Tel.059-233-5501)

●参加費／入場無料・全席自由

●内容／落語家の露の新治さん、解放社会学研究所所長の江嶋修作さん、反差別・人権研究所みえ主任研究員の松村智広さん出演。

●募集人数／先着300人 ●応募締切／1月12日(金)

●申込方法／ハガキ、Fax、E-mail、電話で住所、氏名、連絡先を下記まで知らせるか、直接来所。

●主催・申込・問い合わせ先／514-8567 津市桜橋3丁目446-34 津庁舎2階 津県民センター総務・生活室内 津地域人権まちづくり事業推進協議会 Tel.059-223-5081 Fax.059-227-3170 E-mail takeut00@pref.mie.jp

人権文化のまちづくり～セッション2007～

●とき／2月4日(日) 10:00～16:00

●ところ／三重県人権センター(津市一身田大古曾693-1)

●参加費／無料(事前申込不要)

●内容／【午前】全体会／前半は帝塚山大学教授の中川幾郎さんの講演。後半はまちづくりを行っている団体等による実践活動報告。【午後】分科会／テーマは「外国人」と「子ども」。

●問い合わせ先／三重県生活部人権・同和室 Tel.059-224-2278 Fax.059-224-3069 ●主催／三重県

●持込日時／月～土曜日の10:00～22:00

●問合せ先／松阪市市民活動センター(担当:北西)

Tel.0598-26-0108 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

ホームページ <http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>

第1回いせみづさか eports リユースPC寄贈プログラム

伊勢及び松阪周辺の市民活動団体に再生パソコン(Windows & Officeコース(3台セット)4組、Windows & Worksコース8台)を寄贈します

●応募締切／1月10日(水) 当日消印有効

●寄贈対象／伊勢及び松阪周辺で活動をしている公益性を持つ活動(ボランティア活動)を行っている団体で、予算などの諸事情により情報化が遅れている団体。

【交流イベント&寄贈式】

●とき／1月27日(土) 14:00～

●内容／パネルディスカッションと、市民活動団体の2分間スピーチを開催。寄贈の後、寄贈先への説明会を行います。

●問い合わせ先／いせ市民活動センター Tel.0596-20-4385 Fax.0596-20-4386 E-mail skc@e-ise.net (開館時間 9:00～22:00、定休日 毎週水曜日)

津市市民活動センター常勤スタッフ募集

NPO支援という働き方に興味のある方お待ちしております。詳細については津市市民活動センターホームページでご確認ください。

●応募期間／2月5日(月)～19日(月) ●勤務開始／4月1日

●募集人数／2人 ●給与／月給16万円(社会保険あり)

●問い合わせ先／514-0027 津市大門7-15 津センターバレス3階 津市市民活動センター事務局

Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201

ホームページ <http://www.ztv.ne.jp/tsusimin/>

社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター

犯罪の被害者やその家族・遺族の方が必要とされるサポートを行うとともに、社会の被害者支援意識の高揚を図り、当事者の方々の精神的回復と社会的復帰に資することを目的とする団体です。何でもお気軽にご相談ください。相談料は無料。秘密は必ず守ります。電話相談、面接相談、メール相談／心理カウンセリング(第2水曜・要予約)／法律相談(第4水曜・要予約)／関係機関・団体等との連携による支援活動／付添などの直接支援／自助グループの支援／支援員の育成と養成講座／広報・啓発活動

●相談専用電話／Tel.059-221-7830

●相談受付時間／月曜～金曜(10:00～16:00)

●問い合わせ先／514-0004 津市栄町1丁目891番地 三重県合同ビル2階 社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター Tel.059-213-8211 Fax.059-227-4755

E-mail mie-hanzai-higaisya@river.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www18.ocn.ne.jp/~mie-hhsc/>

ネットワークのよびかけ



NPO書籍の寄贈を募集してます!

新たに生まれる市民団体に活用してもらうため、書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中。使用済みのNPO書籍を、次の世代に役立ててください。(CSR資料も同時に募集中です)

●募集書籍／NPO、ボランティア、まちづくり、NGOの書籍

●持込場所／松阪市市民活動センター

助成金 ニュース

三重ボランティア基金助成事業

●受付締切／平成19年1月31日(水)

●助成の対象となる団体／県内各市町社会福祉協議会に、ボランティアグループとして登録され、福祉の向上を目的とした活動が計画的・継続的に行われ、地域の高齢者や障害者・児童等に対する支援を行っている団体。

●助成の対象となる活動／福祉活動を目的としたボランティアグループ。その活動は先駆的・モデル的な活動(福祉のまちづくり)とします。

●対象事業の期間／平成19年4月1日～平成20年3月31日
●助成の額／1団体500千円以内
●応募方法／「要望書」は、基金事務局または市町社会福祉協議会に設置。ホームページからダウンロード可。提出は登録先の市町社会福祉協議会。
●問い合わせ先／財団法人 三重ボランティア基金事務局 津市桜橋2丁目131番地 Tel.059-227-9994
ホームページ <http://www.miewel.or.jp/vkikin/index.html>

米日財団 日米相互理解プロジェクト助成

●受付締切／1月中旬
●助成の対象となる団体／無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。
●助成の対象となる活動／「コミュニケーション」「世論」のための助成：日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論、また映像などの各分野において具体的な問題について協力・研究するプロジェクト。
●応募方法／直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。
●問い合わせ先／米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2 豊南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128
ホームページ <http://www.us-jf.org>

平成19年度環境NPO助成事業

●受付締切／平成19年1月26日(金)消印有効
●助成の対象となる団体／NPO法人または3年以上の実践活動歴がある国内の任意団体。
●助成の対象となる活動／a.「環境と経済との調和」に資する活動…地球温暖化問題への取り組み、循環型経済社会実現への取り組みなど。
b.「環境と科学技術との調和」に資する活動…自然エネルギーの活用、環境に有効な科学技術の検討。
●助成の額／原則として1件あたり上限150万円
●応募方法／申請書はホームページからダウンロード。
●問い合わせ先／(財)日立環境財団 101-8010 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDXビル21階 Tel.03-3257-0851 Fax.03-3257-0854 ホームページ <http://www.hitachizaidan.org/kankyo/topics/topics23.html>

パタゴニア日本支社環境助成

●受付締切／平成19年1月31日(水)
●助成の対象となる団体／直接行動する課題を持った、草の根で活動する小規模なグループや、自然環境を保護/回復させようとする複数のキャンペーンに取り組んでいるようなグループ。
●助成の対象となる活動／具体的な環境保護活動。例えば地域に残る生物の生息域を守ろうとする地域社会に根ざした活動など。
●助成の額／活動内容、用途などにより20～70万円程度。
●応募方法／申請書はホームページからダウンロードし、郵送で応募。
●問い合わせ先／パタゴニア日本支社/環境助成金プログラム係 248-0006 神奈川県鎌倉市小町1-13-12 Tel.0467-23-8961
ホームページ www.patagonia.com/

**明治安田クオリティオブライフ文化財団
地域の伝統文化分野保存維持費用助成**

●受付締切／平成19年1月31日(水)消印有効
●助成の対象／(i)「地域の民俗芸能」、(ii)「地域の伝統的生活技術」。それぞれの継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力している個人か団体。
●助成の条件／平成19年度中に後継者育成と保存継承に必要な諸費用(道具整備費、製作材料費、育成研修費、記録保存費用など)の支出を予定していること。また、この支出を賄うために個人・団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠であること。
●助成の額／「民俗芸能」は1件につき70万円を、「伝統的生活技術」は1件につき40万円を、それぞれ限度とし、申込内容を検討の上、具体的な助成金額を決定します。
●応募方法／申込に際しては、市町村教育委員会、公立博物館、学識経験者等からの推薦ならびに県教育委員会または知事部局の文化関係課・文化財関係所管課の推薦とコメントが必要。書類は原則として郵送。できる限り、簡易書留便で送付。申込書はホームページからダウンロードするか、A4版サイズの用紙が入る封筒に140円切手を貼付の上、下記まで請求。
●問い合わせ先／(財)明治安田クオリティオブライフ文化財団 160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-1 明治安田生命新宿ビル

Tel.03-3349-6194 Fax.03-3345-6388
ホームページ <http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp>
.....

河川整備基金助成 3.国民的啓発運動

●受付締切／平成19年1月31日(水)消印有効
【1.一般的助成】
●助成の対象となる団体／地方公共団体、法人、学校、任意団体。
●助成の対象となる活動／1)川と人々のかかわりを深めるための河川愛護活動・河川環境学習・人材育成。
2)小中高等学校の総合的な学習の時間における河川を題材とした活動。
3)防災ボランティア等の活動。
4)水害対策に関わる活動。
5)水利用の合理化・高度化・水と産業との係わり等に関する普及啓発活動。
6)流域間・流域内交流。
7)河川に関わる国際交流活動。
8)河川・ダム等への理解を深めることを目的とした、河川・ダム等に係る歴史・風土・文化・伝統技術をテーマとした講演会、シンポジウム、セミナー、イベント、コンテストの開催又は歴史・風土・文化・伝統技術に係わる保存・再生活動。
9)その他…1)から8)以外の諸活動で、国民一般又は地域の人々にアピールするもの。
●助成の額／全国規模活動1件につき助成期間1年で1000万円以内。地域的な規模活動1件につき助成期間1年で500万円以内。
2)の「小中高等学校の総合的な学習の時間における河川を題材とした活動」については1件10万円以内。ただし助成内で2年間にわたることが可能。
【2.継続的助成】
●助成の対象となる団体／活動歴5年以内(申請時)のNPO法人、任意団体。
●助成の対象となる活動／上記【1.一般的助成】の対象となる諸活動を継続的に行う非営利団体の活動運営費。再度の申請は認めません。
●助成の額／1件につき最長5年で各年50万円以内。
●応募方法／申請用紙はホームページからダウンロードするか、240円切手を貼付(部数1部の場合)した返信用封筒(A4版が入るもの)を同封のうえ、請求。
●問い合わせ先／(財)河川環境管理財団研究第一部(担当：石島威・矢野恭治) 103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町11番9号 住友生命日本橋小伝馬町ビル Tel.03-5847-8303 Fax.03-5847-8309 E-mail ishijima-t@kasen.or.jp
※今回、誌面では「3.国民的啓発運動」を掲載します。「1.調査・試験・研究」、「2.環境整備対策」については直接お問い合わせください。
.....

**平成19年度民間の高齢者生きがい健康づくり推進
支援事業(長寿社会福祉基金交付金事業)**

●受付締切／平成19年1月31日(水)必着
●助成の対象となる活動／独創性、先駆性、普遍性のある事業であり、次のテーマに関連する事業。
1.退職労働者の地域活動を促進する事業。
2.高齢者の社会貢献を促進する事業。
3.高齢者の生きがいと健康づくりを支援する人材を養成する事業。
4.高齢者の生きがいと健康づくり活動などのネットワーク化に関する事業。
5.高齢者と子ども世代との交流を推進または支援する事業。
6.高齢者の生涯スポーツ、文化活動を通じた介護予防の推進に寄与する事業。
7.1～6に該当しないが、その他高齢者の生きがいと健康づくりを推進する事業。
●助成の対象となる団体／次のいずれかに該当する団体又は法人であって、事業の実施体制が整っているもの。
1.社会福祉法人。 2.民法第34条の規定により設立された法人。 3.特定非営利活動法人。 4.地方公共団体等の出資により設立、運営される団体であって営利を目的としないもの。 5.その他社会福祉の振興に寄与する事業を行う団体又は法人であって、営利を目的としないもの。
●助成の額／原則として上限250万円。
●応募方法／ホームページから、要望書をダウンロード。
●問い合わせ先／長寿社会開発センター企画振興部 105-8446 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル8階 Tel.03-5470-6753 Fax.03-5470-6762
ホームページ <http://www.nenrin.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

つながれ!..... NPO支援ネットワーク

みえ市民活動ボランティアセンター TEL059-222-5995/FAX059-222-5971

新年特集 新年明けましておめでとうございます!

2007年はこんな年にしたい! 市民活動(支援)センターの野望

みえきた市民活動センター

(特) みえきた市民活動センターでは、市民活動団体を支援するために、桑名・いなべ地域の市民活動の情報を掲載した「桑名まちのかわら版」を毎月発行し、3年半が経ちましたが、今年も継続していきます。また、事務局を受けるなどの市民活動団体の支援も継続して行っています。



あけましておめでとうございます
週刊の発行や様々な集りへの
参加、主催など、活動にとりかかっています。
本年もどうぞよろしくお願ひします。
〒518-0867 伊賀市上野福居町317
Tel: 0595-24-7612, 090-3382-0627
E-mail: nagi-424.36@yahoo.co.jp
代表 中野 ミツ



なやプラザ
研修風景

四日市市なやプラザ

あけましておめでとうございます。

昨年は利用者アンケート調査で、スタッフの丁寧な対応が高く評価されました。利用料収入も前年度を大幅に上回りました。

今年も利用者に喜んでいただけるよう、スタッフ一同頑張ります。

市民ネットワーク すずかのぶどう

明けましておめでとうございます。

すずかのぶどうにとって2007年はNPO活動・NPO法人活動6年の総括と、存続の意義を問う元年となるでしょう。

まずは1月20日・21日の「鈴鹿川流域の環境展」をやすらぎくんネット事務局として、2月24日「鈴鹿市NPO支援講座」を鈴鹿市共催事業として成功するよう努めます。

よろしくお願いします。

伊賀市市民活動支援センター

旧年中、検討委員会で市民活動の財政支援のシステムづくりを検討してきました。2007年は市民を巻き込んでもっと発展させていきたい。

また、継続して市民が地域課題の解決にあたるためのビジネスモデルとして「コミュニティビジネス」という考え方を広めていきたい。



名張市市民活動支援センター

これからも市民活動に参加する人たちが団体が増えていくことを目標に、インターネットなどを活用した様々な情報の収集や、市民活動団体が必要としている情報の発信など、情報の提供システムについて、市民の方と一緒に検討を進め充実させたい。

津市市民活動センター

津市市民活動センター
キャラクターのペンパッパ

あけましておめでとうございます。「めっちゃ楽しい☆」そういう市民活動センターをこれから目指していきます。2007年はハード面の超強化!そしてソフト・ハード両面の融合!【仕事がしやすい】【人が集まりやすい】【情報が回りやすい】想像してみてください。来るだけでちょっと嬉しくなるセンターを。だからワクワクしてください。だから笑顔でいてください。

松阪市市民活動センター

「センターの野望」は「利用団体の野望を叶えること」につきます。最も多い要望である「広報」「運営費」のお悩み解消に力を入れます。また、コミュニティビジネス、CSRも推進。新規団体設立サポート、地域メディア連動もご期待を。新しき団体の育成に向け、NPO、街づくり書籍の寄贈を引き続き募集中。皆様ご協力を!

めいわ市民活動サポートセンター

この地域で何が求められているのか、中間支援組織として何をしなければならないのか。その原点を見つめ直し、事業を再構築していきます。また、地域の中に埋もれている小さな声にも耳を傾け、センターとして何が出来るのかを見つけ、取り組んでいきます。



いせ市民活動センター

謹賀新年 NPOでは世代交代や次世代育成の年になるのではないのでしょうか。

伊勢としては、①地域での市民活動の理解と②三重県下の中間支援組織同士の連携を推進して、みんなで一致団結、素晴らしい三重県を作れたらと思います。



東紀州コミュニティデザインセンター(HCD)

大同楽座というリノベーションしている古民家を拠点に、毎月第3日曜日には、ボランティア団体や商店が集まって、楽座楽市というイベントもしています。敷地内は、カメラスタジオやガラス工房などに改装中で、さらに地域と繋がってこうとしています。



みえ市民活動ボランティアセンター

あけましておめでとうございます。

2006年は県内の市民活動(支援)センターの情報交換会で各センターとつながりを持つことができました。

2007年はこのつながりをもっと強いものにして、市民活動のすそ野を広げていけるようスタッフ一同頑張ります。



がんばれネットワーク

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。休日ごとに山仕事を楽しむ森林ボランティアの鬼頭さんからバトンが渡ったのは津市にお住まいの澤 孝予さん。「みえ生と死を考える市民の会」や模擬患者の会、病院ボランティアなど「命」に関する分野で活動されています。

福祉施設で働く若者の姿に感銘

……一番最初に参加したボランティアは？

福祉ボランティアグループの福寿草に入って、10年ほど活動しました。このグループはメンバーがみな高齢になってきたため、今は解散していますが、津市の特別養護老人ホーム報徳園での入浴介助や、高齢者の家を二人組で訪ねてお話相手などをしていました。

……10年もの長い間、活動を続けてきた理由は？

今から15～6年前。平成3年頃から報徳園へボランティアに行くようになったのですが、そこで出会った若いスタッフさんたちの様子に驚いたことです。学校を出たばかりの若い子たちがお年寄りを相手に優しい言葉をかけて、ニコニコ笑いながら接している姿を見て、涙がポロポロ出てきました。私にも子どもがいますし、世間一般では「今の子どもたちは…」と言われているにも関わらず、こんなに一生懸命、お年寄りに接することができる若者がいるんだと思ったら、その日からしばらく食事ができなくなるほど感銘を受けました。

……人生の中で一番のショックでしたか？

私にとってはそうでした。新聞やニュースなどを読んで、献身的な人たちがいるということはわかっていましたが、現実にはその方たちに会って、表情や動きを見てすぐショックを受けましたね。そして、私も「自分ができることは何でもやろう」と思いました。それで福寿草の活動と平行して、三重大学医学部附属病院（以下、三重大病院と略）の病院ボランティアに参加しました。最初は市民ボランティアだけで60人ぐらいでしたが、その時のメンバーで今も残っているのは二人だけ。全体で5～6人にまで減ってしまいました。

……澤さんは病院ボランティアは何年参加しているのですか？

毎週月曜日、10時から2時間。これがもう10年になります。

……活動の内容は？

最初の頃は病棟から連絡を受けて、入院患者さんの車椅子を押したり、精神科のリハビリとしてレザークラブのお手伝いなどもさせてもらいました。今は人が少ないのでメンバー全員、月曜と木曜の受付を担当しています。本当は月～金曜の各曜日を一人ずつで担当できればいいのですが、新しく入られた方が多いので。最初から一人では心細いでしょう？具体的には来院された方を案内したり、申込書を書くお手伝いをしたりします。高齢の方や外国人の方には「私の方が書き込むことは慣れていきますから」と声をかけ、代筆することもあります。特に外国の方はお話はできても、文字は書けない方

が多いですね。

……三重大病院は広いですから、案内があると助かります。

病院に来られる人というのは大抵、慌ててますし、高齢の方が多いので天井近くにある掲示などは見落とすことが多いようです。ですから困っていきそうな方を見つけて、こちらから「どうしましたか？」と声をかけています。

……病院内のことを隅々まで知る必要がありそうですが…。

わからないことは「ほかの方にお聞きください」とか、「〇〇のナースステーションで聞いてください」と、行き方を案内するだけでも構いません。来院者の手足になって、ちょっと動けるという程度でいいと思います。

……人とのふれあいもあるし、やりがいがありそうですね。

案内をした方が翌週、病院に来られた時に「この前はありがとう」と声を掛けてくれたり、「助かったわ」と喜んでくれたりすると嬉しいですね。ボランティアにとって自己満足は良くないことらしいですけど、「今日も喜んでくれた方がいるわ」と思うと私も嬉しくなりますね。

……病院ですから難しいこともあるのでは？

難しいというか、入院の荷物を持っている方にはちょっと声がかけにくいですね。逆に退院の荷物を持っている方を見ると、こちらまで嬉しくなります（笑）。「今日、退院です」と聞くと、今日は良いことを聞いたなという気持ちにもなりますね。

……もう少しボランティアの人数が増えるといいですね。

人が増えたら以前、ボランティアで行っていた図書の貸し出しを再開させたいですし、受付も毎日、ボランティアがいるようになるといいですね。病院ボランティアはいつも同じ人を相手にしているわけではなく、お相手が変わりますのでちょっと難しいところもありますが、どなたでもできるボランティアです。一週間のうちの数時間、手を貸していただけたらと思います。

「命」に関わるボランティア

……他にはどんなボランティアをされていますか？

「みえ生と死を考える市民の会」の運営委員会と「模擬患者の会」に参加しています。「みえ生と死を考える市民の会」は、病院ボランティアをしていたことから知人に誘われました。最初はお医者さんや看護師さんなどの医療関係者が中心となっていました。そこに市民が参加することで、今のカタチになりました。運営委員会ではお医者さんなど専門家のお話を聞くのですが、最初の2～3年は何を話しているのか、まったくわかりませんでした。参加してから9年目を迎えた今、ようやく話についていけるかなというところです。緩和ケアのことや終末医療のこと。自分がどのように生きて、死んでいくのか。勉強させてもらって、ボランティアすることによって、自分を変えてもらっているのだなと感じています。

……活動は主に勉強会ですか？

年に1回、聖路加国際病院名誉院長で、著書『生き方上手』でも知られる日野原重明先生など、著名な方を招いて講演会を行っています。このほか年2～3回の勉強会と1～2回の施設見学を行っています。これらは以前、医療関係者の方々が中心に企画していたのですが、昨年から市民中心の実行委員会を作って準備しています。私も天井から吊す大きな看板などを書かせてもらっています。



澤 孝予 さんに 聞く

……書道がお得意なのですか？

専門家にお願いするとお礼が必要でしょう？他に大きな字を書く人がいなかったものですから、引き受けました。昔から字を書くのは好きでしたが、きちんと習ったり、賞に応募したことはありません。ようやく最近、書道を習い始めたぐらいです(笑)。習い始めてからは、ちょっと字の質が変わってきましたね。この看板作りと生け花が、私の担当(笑)。他の団体から頼まれたこともあります。頼まれるのは元気なうちですから、書かせてもらっています。

……「模擬患者の会」はどんな活動をするのですか？

三重大学医学部の学生さんの医療面接の試験の時に、患者役を担当します。この会にはスタート時から参加して、4年になります。

……どんな風に患者役を演じるのですか？

まず、先生の方から病気の症状などを書いたシナリオをもらい、その通り話していきます。私たちは患者になりきります。学生さんは私たち相手に医療面接を行い、病気の診断をします。試験の評価は先生が行いますが、私たちも患者としてどう感じたかをフィードバックします。あまり難しいことは言えませんが、「もっと優しく、共感して欲しい」とか、「丁寧に話を聞いて欲しかった」とか、伝えます。卒業までに何回か試験があるのですが、私たちから見ても学生さんはもの凄く上手になっていきますね。学生さんたちが訓練されていくから、今、勤務されているお医者さんたちも変わってこれたように思います。先日は別の病院からも模擬患者を依頼されて、参加してきました。こちらは現役のお医者さんが相手でした。それに次回は受付担当を相手にした模擬患者も実施されるそうで、その時も来て欲しいとお願いされました。あと、年1回程度、県外の研修会にも参加します。そのほか、津市保健センターの母子推進員もしています。

自分が元気でボランティアの場に 寄せてもらえることが、 ありがたいと思います。

……それはどういう活動なのですか？

赤ちゃんが生まれた家を訪問して、赤ちゃんの様子や問題の有無を確認、報告する活動です。日本人の赤ちゃんの場合は各地区に担当者がいるのですが、外国の方が生まれた赤ちゃんの担当は津市内で二人しかいません。私は津市北部を担当しています。

……月に何軒ぐらい回るのですか？

私の場合は月に4～5軒です。白塚団地や豊里ネオポリスの方まで自分の車で走り回っていますが、家を探すのが大変(笑)。

……なぜ、その活動を始めたのですか？

一年ほどイギリスに滞在した時に、周囲の人にすごく良くしてもらったので、日本在住の外国人の方のお手伝いができればと思いました。でも、英会話が得意なわけではないですよ。カタコトの英語ですし、コミュニケーションを取る時は英語と日本語のちゃんぽん(笑)。

それでもダメなら絵を描いたり、中国人の方なら漢字を書きながらお話します。

……子育て中は不安も多いですから、頼りにされるのでは？

言葉も通じませんから、もの凄く心細いのです。母子推進員の役割ではないのですが、どこから



講演会終了後、日野原重明先生を囲んで。

か連絡先を聞いて、電話をかけてくる方もいます。頼られれば、時間が空いている限り行くようにしています。病院へ行くのに付き添ったり、お産に立ち会ったこともあります。病院で聞いた話を本を読みながら、ゆっくりと説明したり、お産に必要な物を教えたり。お母さんになったつもりで接しています。

……仕事を越えた、プライベートなつきあいですね。

結局、そこに行き着くようです。今では赤ちゃんのグッズをちょっと集めたりもしていますよ。あと、子どもに着物を着せたいという話を聞いたので、家にあった赤ちゃん用の着物を貸して、写真も撮ってあげました。いろんな子どもが同じ着物を着ているのだけど、みんな帰る国は違うからいいかな(笑)。

……皆さん喜ばれるでしょう？

ものすごく喜んでもらえるし、スーパーなどでも気軽に声を掛けてくれますね。三重から新潟に転勤した中国人の方は帰国する時に「今から上海に帰ります」と連絡をくれました。お手紙のやりとりが続いている方もいますよ。病院ボランティアをしていますが感じるのですが欧米系外国人の方へのサポートはしっかりしていて、病院に来る方も必ず付添の方がいます。でも、アジア圏の方たちを対象としたボランティアは少ないですね。見ていると違うなあと思っています。

……お話を聞いている澤さんは「命」に関わる活動を専門にされているのですね。

意図したわけではないのですが、そんなカタチになっていきましたね。どれも声を掛けてもらって、参加するうちに何年も続いているという感じ。私はちょこちょこしたことを頼まれたらお手伝いするだけで、たいしたことはしてません。もっと腰を据えて、大きな活動に取り組めば良いのでしょうか…。

……日々の生活の中で不便を感じている方は多いのですから、澤さんのようなボランティアが増えていかなければいけないと思います。私は気持ちのうえでお手伝いをするだけです。病院ボランティアをしている時に、「ボランティアをされているなんて大変ね。でも、あなたは元気だからできるのよ。私のように病気になって、病院に来たらダメよ」と言われました。本当に、自分が元気でボランティアの場に寄せてもらえることが、ありがたいと思います。

● 病院ボランティア(三重大大学医学部附属病院医療サービス課)

Tel.059-231-5293、059-231-5067

みえ生と死を考える市民の会(三重大外医学部看護学科)

Tel.059-231-5230

澤 孝子さんはこの人を紹介します。

水谷由実子さん

新日本婦人の会や女性会議などで活躍されています。



澤さんの力作。力強い文字です。お花も澤さんが生けられたものです。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpa@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

100

PRINTED WITH
SOY INK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。